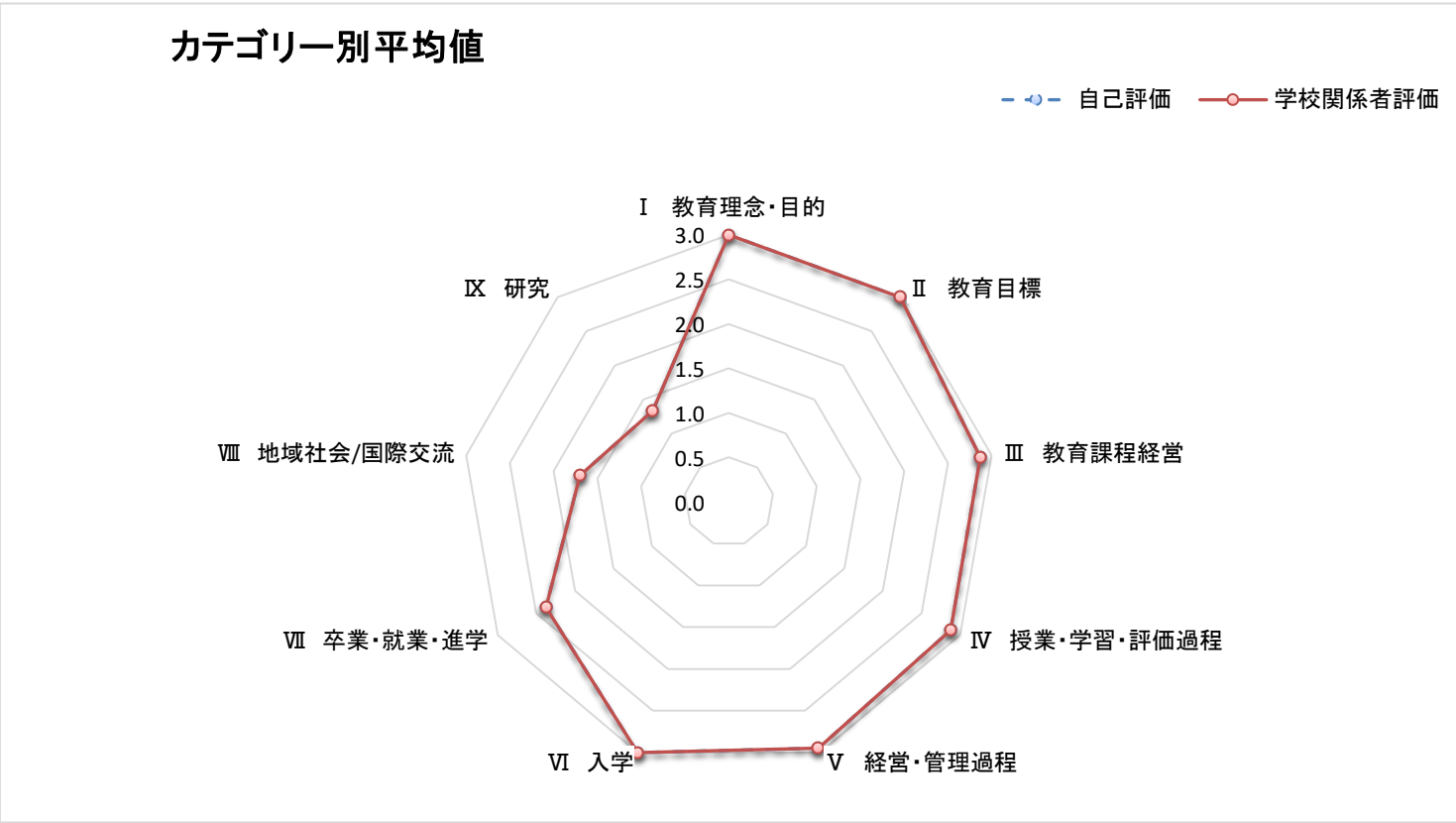


カテゴリー	評価の概要	項目数	自己評価		学校関係者評価	
			合計点	平均点	合計点	平均点
I 教育理念・目的	「法的整合性と独自性」「教育理念・教育目的の意義と周知」「看護専門職についての考え方」「看護教育についての考え方」「学習・教育観と学生観」について評価します。	11	33	3.0	33	3.0
II 教育目標	「教育理念・教育目的との一貫性」「目標内容の側面と到達レベルの側面」「設定意図とその明確性、実現可能性」「教育目標の評価」「継続教育との関連」について評価します。	7	21	3.0	21	3.0
III 教育課程経営	「教育課程経営者の活動」「教育課程編成の考え方とその具体的な構成」「教育内容の階層的関連性とその配分の考え方」「科目・単元構成」「教育計画」「教育課程評価の体系」「教員の教育・研究活動の充実」「学生の看護実践体験の保障」について評価します。	31	89	2.9	89	2.9
IV 授業・学習・評価過程	「授業内容と教育課程との一貫性」「看護学としての妥当性」「授業内容間の関連と発展」「授業の展開過程」「目標の達成の評価とフィードバック」「学習への動機付けと支援」について評価します。	17	49	2.9	49	2.9
V 経営・管理過程	「設置者の意思・指針」「組織体制」「財政基盤」「施設設備の整備」「学生生活の支援」「養成所に関する情報提供」「養成所の運営計画と将来構想」「自己点検・自己評価体制」について評価します。	36	106	2.9	106	2.9
VI 入学	「入学者の選抜の考え方と教育理念・教育目的との一貫性」「選抜の公平性」「選抜方法の妥当性」「入学希望者開拓への取り組み」について評価します。	2	6	3.0	6	3.0
VII 卒業・就業・進学	「進路選択の状況と教育理念・教育目的との整合性」「卒業時の看護実践能力および卒業後の活動状況の評価」について評価します。	8	19	2.4	19	2.4
VIII 地域社会/国際交流	「地域社会と交流するための体制」「国際交流のための体制」について評価します。	10	17	1.7	17	1.7
IX 研究	「教員の研究的姿勢の涵養」「教員の研究活動の保障と評価」について評価します。	3	4	1.3	4	1.3
総合評価平均点		125	344	2.8	344	2.8



改善点と改善に向けての具体策（別添：自己点検・自己評価と学校関係者評価総括表）

前年度の総合評価平均点2.6から2.8へと上昇した。その要因として「I 教育理念・教育目的（2.9→3.0）」では教員全員で教育理念及び目標を検討し、目の付くところに掲示して周知・徹底を図ったこと、「III 教育課程計画（2.8→2.9）」では各科目で実施していた授業アンケートの項目及び基準を統一し組織的な授業評価を実施したこと、「VII 卒業・就業・進学（1.4→2.4）」では奨学先病院へのアンケートや卒業生を対象としたホームカミングデイを実施し状況把握に努めたことなどが考える。

しかしながら、「VIII 地域社会/国際交流」、「IX 研究」については低値のままである。「VIII 地域社会/国際交流」については地域の資源を学習や教育活動に取り入れるよう地域・在宅看護論実習Ⅰ（施設実習）を養成所周辺の高齢者施設へ変更する計画であり、新型コロナウイルス感染対策の規制緩和を受けて、地域住民参加型のイベントを企画し、交流の機会を増やす等地域で求められる養成所の役割を果たせるよう検討しているところである。また、「IX 研究」については引き続き研修会・学会参加と併せて研究的な視点での現象の分析や改革など研究的思考の研鑽に努め質の向上につなげる。